



このような子どもたちの様子 気になりませんか？



- 読むことや書くことが苦手
- 聞くことや話すことが苦手
- 内容を十分に理解できていない

- 全体的に落ち着きがなく、集中できない
- 活動への取りかかりが遅い
- 書くことに精一杯で考えるまでいかない

- 発言する子どもが少ない
- 活動に参加できにくい
- 子どもたちの関係がうまくいっていない



情報提示の仕方を工夫してみよう



取り組みやすい環境を工夫してみよう



認め合い安心できる集団づくりを工夫してみよう

支援内容一覧より

視点	支援の目的	支援の工夫例	具体的取組例 小中高 特支
1 情報提示	(3) 理解を促す	(1) 学習課題に焦点をあてた教材の工夫や課題提示の工夫などで、学習課題を把握しやすくする	例12
		(2) 既習事項やポイント等により考え方のヒントを示すなどで、課題解決に取り組みやすくする	例13
		(3) 操作する活動や動きのある活動を取り入れるなどで、思考を深めやすくする	例14 例15

支援内容一覧より

視点	支援の目的	支援の工夫例	具体的取組例 小中高 特支
2 環境整備	(2) 見通しをもつことを促す	(1) 板書やタイマー等により終わりの時間を示すなどで、時間的な見通しをもちやすくする	例19
		(2) 取組の手順に番号をつけて事前に提示するなど、活動内容の見通しをもちやすくする	例20 例21
		(3) 年間計画、週予定や日程等を視覚的に提示するなど、学校生活の見通しをもちやすくする	例22

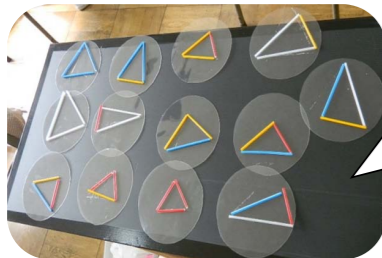
支援内容一覧より

視点	支援の目的	支援の工夫例	具体的取組例 小中高 特支
3 学級集団づくり	(2) 活動への参加を促す	(1) 他者評価や自己評価の場面を設けるなどで、取組が認められることにより、意欲を持続しやすくする	例29 例30
		(2) 得意なことなどを生かした活動や役割を果たす場面を設けるなどで、主体的に取り組みやすくする	例31
		(3) 学習や学級のルールを明確に示すなどで、安心して活動に取り組みやすくする	例32 例33

【工夫のポイント】

◎関心をもたせる教材の工夫

- * 学習問題は子どもの身近なものを題材にする
- * 操作的活動を取り入れ、集中させたり、思考力を深めたりする



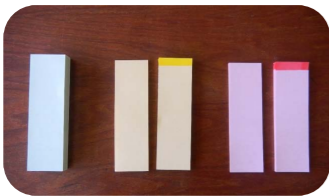
「同じ長さの辺が同じ色のストローだから調べやすい！」

「透明シートの台紙だから、回転したり裏返して重ねたりしていろいろと調べられるよ。」

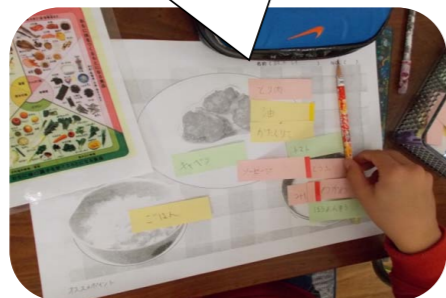
(小学校)



「栄養素を付箋で色別に分けると、全体のバランスがよくわかるよ。」



(小学校)



【工夫のポイント】

◎取組の手順を視覚的に提示

- * 文字に、写真や絵を添えて手順表を作る
- * 取り組む順番に番号をつける



「苦手な健康診断も、手順表を見てから受けると、安心して受けられたわ。」



(中学校)



(特別支援学校：小学部)



「何ページの練習問題をやればいいのか確認できて安心。」



【工夫のポイント】

◎多様な活動の設定

- * 「どうがんばるか」、今からすぐに行える具体的な目標を考えさせる
- * お互いにふりかえり認め合うことで、自己肯定感の向上を図る

◎授業中の発言を肯定

- * 自発的に発言できる雰囲気を作る



「ポイントカードの活用は、生徒たちのやる気を引き出してくれました。」

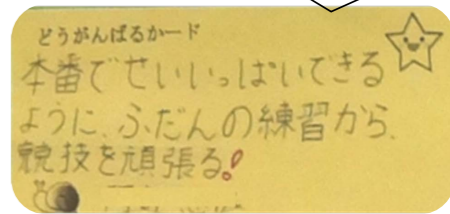


「何を・いつから・どのくらいできるか考えて、カードに書いたよ。」

「よーし、がんばるぞ！」



(高等学校)



(中学校)

「発言するたびにポイントカードがもらえるよ。」

「発言が苦手な私は、宿題の他に課題に取り組んだらもらえたよ。」

